

「小論文」

- 注意 (1) 問題用紙・解答用紙に受験番号を明記すること。
(2) 解答用紙に科目名を明記すること。
(3) 試験時間内の退室はできない。

次の文章を読み、下の問に従って論じなさい。(100点)

伝統的な捉え方における文化という概念は、人類の歴史の中の、ある特定の時代に、特定の地域固有の社会の中に生きた人々の痕跡であった。したがって、そのような文化を学問の対象として研究するとき、当然ながら、その時代の限られた特定の社会、民族、宗教、慣習などについて学び、理解を深めることが中心であった。しかし、国境や民族、宗教を越えて、様々なモノ、ヒト、情報が、地球規模で縦横無尽に素早く移動し、交流し、共有・融合され、そして時に、拒絶される、そのような、いわゆるグローバリズム化が進んだ現代社会においては、そこから派生する様々な新たな視点や問題を抜きにして、個別の文化を捉えることは不可能になっている。たとえば、①グローバリズムとローカリズムの問題、②ジェンダー論的視点と社会問題、③多文化共生と排他性の問題、さらには、近年、大きな問題となっている、④AI技術とその社会的受容の問題などである。たとえ、遠い過去の歴史や文化を研究対象として、それを深めて研究する場合であっても、ここで挙げたような、現代の国際社会が抱える問題や視点に対して、我々は、常に、基本的な知識や理解を深めておくことが必要である。なぜなら、歴史や文化を学び研究する者には、それを、「どのような視点から何を明らかにするのか」、そして、「現代人はそこから何を学ぶのか」という問いや視点が、常に、不可欠であるからだ。過去の歴史や異文化を学び、それを深めて研究するとき、我々の徹底的な客観的視点と同時に、常に、現代に生きる我々自身の問題意識や視座もまた、問われているのである。

問. 文中にあげられている①～④の問題のうち少なくとも3つに関して、その視点や問題点に言及しながら、複雑な問題を抱えた現代社会を、我々はどのように捉え生きていくべきか、自分の考えを論じなさい。